



万木 豊 議員

地方版図柄入り
ナンバープレート

高島市の地方版ナンバープレートの位置づけは。

答

まちのPRに役立つだけではなく、郷土愛を高める効果を持つと考えています。

そこで次の点について問う。

問

走る広告塔として地域の魅力をPRする「地方版図柄入りナンバープレート」が導入され、本年の10月で1年が経過した。

高島市の「地方版図柄入りナンバープレート」における位置づけはどのように考えているか。

答

総務部長

近年、市町単位でも総排気量125cc以下のバイク、小型特殊自動車やミニカーに「地方版図柄入りナンバープレート」を導入している。県内では甲賀市が平成24年、大津市で平成27年に、彦根市は平成30年10月に導入が実施されている。各市町のデザインは、甲賀市が忍者、大津市は瀬田の唐橋、彦根市はひこにゃんをイメージしている。

地方版図柄入りナンバープレートは、自然、歴史文化、産業などのシンボルとなる地域の資源や魅力をアピールする一環として捉えており、まちのPRに役立つだけではなく、郷土愛を高める効果を持つと考えております。

問

「地方版図柄入りナンバープレート」を導入されてはいかがか。

答

総務部長

まちの名所やゆかりのあるキャラクターなどのデザインを施した特色のあるナンバープレートを導入している市町もあり、地域振興や観光振興を図るうえで、効果を得ていることも承知しています。当市においても「地方版図柄入りナンバープレート」が市民に親しまれるものとなれば、地域への愛着や一体感が深まり、また観



地方版図柄入りナンバープレート



その他の質問

●中山間地域における農業振興について問う